

# マテリアリティ(重要課題)

マテリアリティ(区分)	マテリアリティ(項目)	課題	KPI	目標値	2024年3月期 実績・進捗	対応するSDGs
 環境 E	環境負荷低減	● CO <sub>2</sub> 排出量削減	排出量削減率	46%削減(13/3期比、削減量:45,575t-CO <sub>2</sub> ) ※ 30/3期末排出目標 53,545t-CO <sub>2</sub>	2.4%削減(24/3期末) 25/3期~29/3期までの削減計画策定	
		倉庫照明のLED化	自社倉庫照明LED化率	100%(30/3期末)	37.6%(24/3期末)	
		再生可能エネルギー発電量 (定温倉庫への太陽光発電設備設置)	自社定温倉庫への太陽光パネル設置率	100%(30/3期末)	5.1%(24/3期末)	
		ディーゼルフォークリフトのバッテリー化	4t以下フォークリフトのバッテリー化率	100%(30/3期末)	67.4%(24/3期末)	
		再生可能エネルギー由来電力の使用	全電力使用量に占める再生可能エネルギー由来電力の割合	30%(30/3期末)	0%(24/3期末)	
● 環境マネジメントの推進	ISO14001の取得	ISO14001を本店含む複数店で取得	検討中			
 社会 S	多様な人財を活かした魅力ある職場環境の創出	● 健康経営の推進	有休休暇取得率	65%(25/3期末)	63%(24/3期末)	
		● 人財育成の強化	階層別社員教育の充実	研修メニューの拡充	経営リーダー研修の実施(所属長クラス対象)	
		女性管理職比率	4%(35/3期末)	2%(24/3期末)		
		総合職女性比率※(注1)	15%(35/3期末)※(注1)	-		
		女性役職者比率(管理職除く)※(注2)	30%(35/3期末)※(注2)	-		
	● 人権・多様性の尊重	男性の育休取得率	70%(35/3期末)※(注3)	23%(24/3期末)		
	責任ある企業としての安全への取組み	● 業務における防災・減災	Gマーク取得促進	全事業所での取得	全事業所取得済み	
			重大事故件数	ゼロの継続	ゼロ	
			交通事故件数	30%減(対前年比)	60%減(2022年度10件 2023年度4件)	
		労働災害件数	労働災害指数 度数率:0.80以下 強度率:0.03以下	2023年実績 度数率:0.55 強度率:0.01		
		● レジリエンス強化	ドライブレコーダー搭載率	100%	100%	
	BCP整備		全拠点でのBCP策定完了	28支店80拠点(全支店への連絡体制の整備完了)		
	地域コミュニティとの連携強化	● 企業市民活動の拡大	IP無線の設置件数	全施設(30/3期末)	28支店46拠点(全支店への設置完了)	
			重大災害訓練の実施	年1回	広域災害訓練0回(各拠点での災害訓練等は実施)	
		非常用電源もしくは大容量バッテリーの設置	主要拠点(本店・東京本社・名古屋支社・福岡支社)への設置(30/3期末)	見積取得および設置計画の検討		
災害備蓄品の備蓄		従業員数×1.1×3日分 ※ 対象拠点数:27(南海トラフ地震防災対策推進地域内の拠点数)	25拠点			
● 顧客ニーズ・社会的課題への対応		社会貢献活動の実施数	(拡大)	・ヴィッセル神戸「ソーシャルシート」(社会貢献型シート)への協賛 ・2023年度世界水泳へ5000万円寄付		
● DXの推進	スポーツ・文化教育への貢献拡大	(拡大)				
	社会インフラ関連設備の輸送推進 ※ 新エネルギー/交通インフラ関連設備等の輸送実績拡大	-	バイオマス発電所向け資材・燃料輸送新規1件受注			
● DXの推進	導入するDX施策の拡大	-	DXデジタルツール3件導入			
 ガバナンス G	ガバナンスの強化	● 当社に最適な体制の維持・構築	改訂CGCの各原則の遵守率	100%	98.7%(83項目中82項目遵守 残1項目)	
		● 取締役会・監督機能の実効性向上	取締役会実効性評価の実施と改善策への取組み	25/3期までに第三者機関による評価1回実施	24/3期:第三者機関による評価1回実施	
		● 取締役会の監督機能強化	取締役会の監督機能強化に向けた継続的取り組みの実施	指名・報酬委員会の設置 取締役会の適正な構成の追求	指名・報酬委員会の設置完了 スキルマトリクスの見直し検討中	
		● コーポレート・ガバナンスに係る開示の充実・透明性向上	ステークホルダーの理解向上に資する開示の充実・透明性向上	情報開示の充実・透明性の向上	非財務情報・英文開示の充実化、G報告書改訂	
	コンプライアンスの徹底	● 全社員のコンプライアンス意識の向上	重大なコンプライアンス違反件数	0件	0件	
			コンプライアンス教育の充実	eラーニング等を活用したコンプライアンス研修の実施など	AEO・内部通報に関する社内WEBセミナー開催 企業倫理ヘルプライン社内ガイドブックの発行	
		● 企業活動における不適切な行動、交流の防止	オペレーショナルリスクの低減	営業所単位でのリスク管理 社内共有で類似ミス等を防止	営業所単位でのリスク管理、類似ミス防止活動を継続的に実施(毎月)	
			業務コンプライアンス知識の醸成	コンプライアンステキストの実施・効果測定	12回/年	
	● 受付窓口の認知度・活用	コンプライアンス・アンケートの認識率	認識率の向上	100%		
		相談窓口対応件数	件数の開示	9件(前年より3件減)		
リスクマネジメント	● 情報セキュリティの強化	情報セキュリティ教育実施回数	5~10回/年	4回/年		
		事故件数(情報漏洩、サービス停止など)	0件/年	0回/年		
		情報セキュリティ対策の推進	推進内容の開示 (サイバーセキュリティ委員会を中心に検討中)	セキュリティ対策ソフトの更新		

※(注1)当社取締役会にて2025年3月期以降本KPI・目標値の追加を決定しました。そのため、2024年3月期の実績はありません。  
 ※(注2)目標値を達成したため、当社取締役会にて2025年3月期以降本KPI・目標値の変更(「女性役職者人数(管理職含む):22/3期末比20%増(25/3期末)」→「女性役職者比率(管理職除く):30%(35/3期末)」)を決定しました。そのため、2024年3月期の実績はありません。(旧目標の実績:22/3期末比79%増(24/3期末))  
 ※(注3)目標値を達成したため、当社取締役会にて2025年3月期以降本目標値の変更(「10%(25/3期末)」→「70%(35/3期末)」)を決定しました。  
 ※ 社会(区分)の内「中途採用役職者人数(管理職含む)」および「アンコンシャスバイアス研修の受講率(管理職)」については、目標過達の為KPI・目標値を削除しました。